JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

JAふくしま未来
広報誌

2020年
12月号
VOL.58

つなげる地域の輪
JAふくしま未来
5th ANNIVERSARY

未来への心をつなぐパートナー
農をはぐくみ地域をつなぐ

みらいろ
MIRAIRO

特集
❶わたしの今年の漢字！
❷JAふくしま未来のSNS

JAふくしま未来

今月の表紙

伊達地区あんぽ柿生産部会の皆さん

伊達地区あんぽ柿生産部会の部員数は705人。令和元年の JA販売高は約11億7,800万円になります。

あんぽ柿生産部会では、あんぽ柿の加工選別包装施設「あんぽ工房みらい」の活用やブランド化の推進など、産地復活を目指して一丸となって取り組んでいます。

私たちが作った、「トロっと甘い、冬の特産あんぽ柿」は JA農産物直売所で購入できます。ぜひ、食べてください!!

Contents

02 旬の生産者　表紙の人
04 特集
①わたしの今年の漢字！
②JAふくしま未来のSNS
08 家族農業者紹介
10 みらいろトピックス
15 営農情報
20 みらいろーど
22 みらいろ作品展
24 元気にすくすく「みらいっ子」
25 コラム
26 みらいろポイントカード協力店
27 未来を拓く協同組合
28 ドローンで見るふくしま未来
お知らせ
30 クロスワードパズル
31 家庭菜園のススメ
32 今旬レシピ
今月の直売所出荷者さん

5周年記念ロゴマーク

JAふくしま未来は、誕生から5年目を迎えました。
おなじみのJAふくしま未来のロゴマークを基調とした配色で、「地域の輪をつなぐ!」イメージで5周年記念ロゴを作成しました。

I ♥ 農業
旬の生産者
表紙の人

産地復活を目指し特産のあんぽ柿を作り続ける佐藤さん

産地復活を目指して適期防除で高品質なあんぽ柿生産

伊達市霊山町で特産品のあんぽ柿を生産する佐藤さん。伊達地区あんぽ柿生産部会の部会長を2期務め、今年で3年目を迎えます。東京電力福島第一原子力発電所事故から加工を再開して7年目を迎え、産地復活を目指し安全・安心でおいしい、あんぽ柿生産に取り組んでいます。

伊達地方では大正時代からあんぽ柿の生産が始まり、100年近い歴史があります。佐藤さんは高校卒業後に就農し、当時から作り続けています。冬の収入源になるのは農家にとって魅力のひとつ。適期防除を徹底して落葉病を防ぎ、適熟になるまで追熟するなど熟度にこだわっています。

原発事故後は3年間栽培することができず「このままどうなるのか心配だった」と当時を振り返ります。4年目でやっと再開することができましたが、また作れるうれしさと、買ってくれる人がいるのかと思う心配がありました。しかし、市場関係者からの励ましの声ですぐに心配はなくなりました。今では震災前の出荷量の約9割まで回復し、全国有数のあんぽ柿産地の完全復活を目指します。

佐藤さんは「今の規模を維持しつつ、少しでも長く農業を続け伝統あるあんぽ柿生産を続けたい」と意気込みます。

伊達地区／伊達市霊山町

伊達地区あんぽ柿生産部会
部会長
佐藤　孝一 さん（65歳）
栽培品目：あんぽ柿、プラム、モモ、キュウリ
栽培面積：130本、15a、20a、35a

旬の食材

あんぽ柿

あんぽ柿はビタミンA1の量が、生柿に比べて3倍以上多く含まれており、美容・健康効果はバツグン！ビタミンA1はしわ取りなどの美容効果があります。その他、かっけ予防のビタミンB2や二日酔い防止に効くビタミンB6も含まれています。

福島独特の風土、昼夜の激しい寒暖差が、柿の甘みを凝縮させ美しい橙色に仕上げます。

わたしの今年の漢字！

令和2年も残すところ1ヶ月を切りました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に猛威をふるった1年となりました。思うように事が進まない中ではありましたが、みなさんはどのような1年だったでしょうか？
今回はJAの各組織の代表者の方に「今年の漢字」を聞きました。

持地 勝雄さん
(80)

福島市岡部
福島地区農振会　会長

栽培品目　野菜 40a

漢字を選んだ理由

今年は「新型コロナ対策」に日本中が翻弄された年でした。そして今後は、「ポストコロナ」として新たな挑戦が重要かと思います。来年も課題は山積みですが、皆で力を結集し乗り越えたいものです。私も農振会会長として、またＪＡの直売所出荷会員として頑張ります。

末永 喜広さん
(62)

福島市沖高
福島地区総代　代表

栽培品目　モモ 1,2ha、ブドウ 50ａ、リンゴ 1 ha

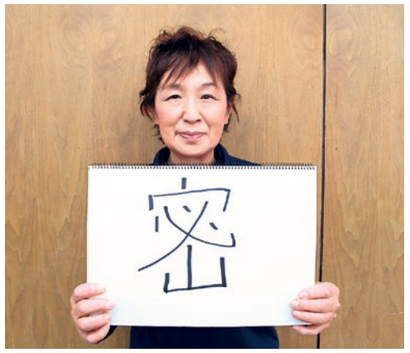
漢字を選んだ理由

今年は総会や研修など、何をやろうとしても苦労してやってきました。我々農家は、売れない品目もあって大変だった人もいました。また、旅行や飲食関係も低迷し世界的に大変な状況になってしまったので、もう一度復活、再起していくことを目指して頑張っていきたいと思います。

佐久間 弘子さん
(69)

国見町
女性部伊達地区本部
副部長

栽培品目　―



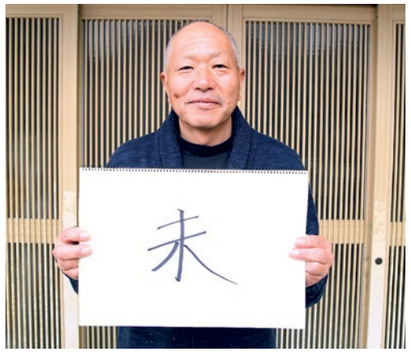
漢字を選んだ理由

今、世界中を脅かしている新型コロナウイルスの感染予防のため３つの密「密閉・密集・密接」を避けることが一番大切なことと感じました。女性部の活動でも感染予防として、密を上手に避けて新しい生活様式の中で安心して活動することができました。

佐藤 清和さん
(59)

伊達市保原町
伊達地区きゅうり生産部会
部会長

栽培品目　野菜 20ａ



漢字を選んだ理由

今年はコロナに始まり、日本各地で発生した集中豪雨や異常天候、伊達地区でも被害を受けたモモの穿孔細菌病など、前代未聞に悪いことが続きました。「未」という字には「いまだ・・・ない」と否定的な意味もありますが、逆を言えば「いまだ・・・ないが、これから変われる」など可能性を秘めた意味もあります。来年は吉事が多い年になるように願います！

大槻 重征さん
(76)

二本松市針道
安達地区花卉部会　部会長

栽培品目　花卉 30ａ、キュウリ 30ａ

漢字を選んだ理由

花卉栽培は地区を超えた栽培技術の共有や出荷を行っています。他地区の栽培技術を共有することで、生産者のレベルアップにつながっています。合併のメリットを活かして、これから栽培を始める人も条件が良くなりました。忙しい時や大変な時に、自分や相手を見つめ直してお互いを助け合っていくことが大切です。農業者も高齢化し、集落営農で地域農業を支えられるようになればいいと思います。

阿部 与一さん
(71)

二本松市新田
安達地区やさい部　部長

栽培品目　キュウリ 35ａ、水稲 2.2ha、リンゴ 40ａ

漢字を選んだ理由

私は「光」が好きです。どんなことがあっても、毎日朝は明るくなります。日が差し、朝は気分が良く、気持ちも明るくなります。農家は朝、明るくなっての仕事がメイン。日が差せば「よし、頑張ろう！」という気分になります。今年は暗いニュースが多かったですが、来年は明るいニュースが多くなることを願います。

鎌田 芳彦さん
(55)

南相馬市鹿島区
そうま地区園芸部会　部会長

栽培品目　水稲 18ha、イチゴ 17ａ、花卉 2ａ

漢字を選んだ理由

新型コロナウイルスの影響で、道の駅やサービスエリアが封鎖され、農産物が出荷できない時もありました。しかし農産物は順調に成長します。コロナ終息と今までの生活の復帰を願いながら、努めて真摯に農業に向き合っていきたいと思います。

今野 秀幸さん
(47)

南相馬市原町区
旬のひろば直売部会長

栽培品目　水稲 17.5ha、野菜 45ａ

漢字を選んだ理由

自分が大切にしている座右の銘が「糧」です。昨年、甚大な被害があった豪雨災害や終息が見えない新型コロナウイルスも将来、私たちの大切な「糧」になると考えます。直売所部会長として消費者の笑顔を「糧」に頑張っていきたいと思います。

JA ふくしま未来は SNS で 旬な情報を発信しています！

JAでは地域住民だけでなく、全国に向けた情報発信として、ホームページやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、農業やJA、地域の元気をタイムリーに発信しています。今回の特集はJAの情報発信について紹介します。みなさんもぜひJAのSNSをご覧になってみてください！

❶ホームページ

JAふくしま未来の取り組みが丸わかり！

ホームページを開くと、旬の農産物や生産者、農作業の風景がドーンと現れます。その他、JAの概要や支店・直売所などの案内、旬の農産物情報が見られるようになっています。

イベント・お知らせでは、直売所などJA施設でのイベント情報を案内しています。

また、トピックスは高頻度で更新していてJAでの出来事を手軽に見ることができます。

農家の皆さんに向けては、助成事業や支援事業の紹介、農業所得アップに向けた取り組み、栽培・防除情報などを公開しています。

消費者の方に向けては、安全・安心の取り組み、農作物放射性物質調査の取り組みなどを案内。その他、オンラインショップや信用・共済のキャンペーンなどの情報を見ることができます。

また、サイト内にはドローン動画集のページがあり、ドローンで撮影した動画が楽しめます。過去の広報誌やコミュニティー誌の閲覧も可能となっています。

ぜひご覧になってみて下さい！

スマートフォンでＱＲコードを読み取ると、ホームページが閲覧できます。

❷ Facebook（フェイスブック）

JA ふくしま未来の今が分かる！

フェイスブックでは、今が旬の農産物やキャンペーン、イベント情報など、リアルタイムな情報を発信して、JA の今を伝えています。

※JAふくしま未来の投稿を閲覧するには、フェイスブックでアカウントの作成が必要になります。WEB上で「フェイスブック」と検索するか、もしくは、スマートフォンなどでフェイスブックアプリをダウンロードすることで、アカウントの作成が可能です。

ＱＲコードを読み取り**友だち追加**
よろしくお願いします♪

❸ YouTube「みらいろ」チャンネル

動画で楽しむ JA ふくしま未来！

JAでは YouTubeチャンネル「みらいろチャンネル」を運営しています。毎月はじめの組合長あいさつ動画や管内の旬の農産物・風景、またドローンで撮影した空からみる映像が楽しめます。

そのほか、農作物の指導会などの様子も配信しています。

チャンネル登録、いいね
などよろしくお願いします！
ＱＲコードを読み取り、動画をお楽しみください♪

家族農業者紹介

農業を「魅力的で夢のある職業」へ

相馬市　齋藤（さいとう） 忠一（ただかつ）さん(77)、すみ子（こ）さん(72)

INTRODUCTION

相馬市小野地区で水稲（2ha）と野菜（70a）を栽培する齋藤さん家族。天のつぶを中心とした水稲とネギを中心とした野菜を栽培。家族で協力してJAへ出荷しています。

ネギの掘り起こし作業をする忠一さん

安全安心を届けたい

忠一さんは「代々続く家業の農業を継ぎたい」と62年前に就農しました。就農後の1年間は、農業試験場で研修生として一生懸命農業について学んだと当時を振り返ります。

長年農産物を栽培していくうえで、消費者にもっと安心して相馬のネギを食べてもらいたいと思い、平成30年にJGAP認証を取得。相馬中村ねぎ部会の部会長も務め、農薬の管理などを徹底して安全安心な農作物の出荷を心掛けています。妻・すみ子さんは「農作業は体が資本」と健康に気をつけ安全な農作業を心掛けます。水稲栽培やこれから出荷のピークを迎えるネギの収穫作業を二人三脚でおこなっています。

常に新しい考えを

「農業を、誇りが持てる仕事にしたい」と話す忠一さん。休耕地の有効活用や地域水田の基盤づくりなど〝地域農業のありかた〟を考える事が趣味だと話します。12年前に安定した水田経営の第一歩として集落営農組合を立ち上げ、昨年まで組合長として地域の農業振興に取り組んできました。今後は農業経営の近代化など常に新しい事を考え、地域の後継者に託すため農業が魅力的で夢のある仕事という環境づくりをしていきたいと意気込みます。

選別作業中のすみ子さん

Future

～地域の伝統を大切に～

忠一さんは4年前に国の重要無形民俗文化財に指定されている「相馬野馬追」に相馬中村神社の総代として参加しました。背中の金幣束は相馬中村神社の総代にのみ与えられる貴重なものです。地域にまつわる伝統的なお話を聞かせていただきました。

甲冑姿の写真を見せていただきました

みらいろ トピックス

10月下旬から11月中旬にかけての出来事を紹介します。

TOP NEWS

10月27日

3年ぶりの団体賞受賞

JAグループ和牛育成管理共進会

第30回JAグループ和牛育成管理共進会が、福島県家畜市場で行われました。県内各JAで選抜された57頭が出品され、本宮市の佐藤一徳さんが出品した「さつきのかつふく」が、農林水産省東北農政局賞に輝きました。また、当JAは3年ぶり2度目となる団体賞を受賞しました。

二本松市のアーバンホテル二本松で開いた祝賀会には、出品者や和牛繁殖部会連絡協議会役員ら30人が出席。同協議会の斎藤正剛会長が「部会とJA担当者の総合力の結果。これからも努力していく」と謝辞を述べました。

▲団体賞を受賞した皆さん

▲3年ぶりの団体賞を喜ぶ斎藤会長

TOP NEWS

11月7日

5周年の感謝を込めて

各地で記念フェア開催

JAは合併5年目を記念した「5周年感謝フェア」を各地で開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年各地で開催している恒例のJAまつりの代替イベントとして実施しました。

同フェアでは各地区統一イベントとして、旬の農産物詰め合わせセットの特価販売や農産物品評会、全組合員を対象とした抽選などを行いました。

そうま地区は11月6日～8日、伊達地区は7日～8日、福島地区は14日。それぞれ管内の農産物直売所を会場に開き、組合員や地域住民、利用者などに感謝を伝えました。

▲農産物品評会表彰式（福島地区）

▲多くの来場客で賑わった女性部バザー（伊達地区）

▲農産物を買い求める来場者（そうま地区）

11月11日

病原菌撲滅へ期待

黒星病対策を動画で配信

JAは、動画投稿サイト「YouTube」の「みらいろチャンネル」で、落葉処理の解説動画を配信しました。フレールモアや乗用モアなどの草刈り機を使った落葉処理を紹介。JAと生産者が一丸となって、病原菌撲滅や所得増大を目指します。

新型コロナウイルスの感染予防で大人数を集められないことや、JA福島地区なし専門部会の引地一裕部会長からの提案もあり配信が決まりました。

福島市内の園地で同部会の油井亮司副部会長やJAの担当者が処理時の注意点などを詳しく説明した6～7分の動画を3本公開します。

引地部会長は「地域全体で取り組まないといけない。全国の人に見てもらいたい」と話します。

▲配信動画を確認する生産者

落葉処理を実演する油井副部長▶

10月27日

糖度、蜜入り良好

サンふじ指導会開催

リンゴの主力品種「サンふじ」の出荷が始まりました。JAでは今年度リンゴ全体で2，827tの出荷を計画しており県内をはじめ、京浜、関西など各地へ出荷します。

今年のリンゴは、春先の干ばつや日照不足によりやや小玉傾向ですが、例年通り糖度が高く蜜入りも良好です。

湯野共選場で開いた指導会には生産者約40人が出席。福島地区営農経済課の佐藤喜代治課長は「今後の管理をしっかりして、色の良い蜜の入ったものを1粒でも多く出荷してほしい」と呼び掛けました。

▲リンゴの規格を確認する生産者

10月29日

モモ穿孔細菌病への特別対策要請

伊達地区管内市町村長意見交換会

伊達地区本部は第6回管内市町村長意見交換会を同地区本部で開き、農業生産振興やモモ穿孔細菌病特別対策などについて意見を交わしました。

伊達市の須田博行市長や桑折町の髙橋宣博町長、国見町の太田久雄町長、1市2町の首長やJA役職員ら16人が出席。今年度伊達地域に甚大な被害をもたらした、モモ穿孔細菌病への特別対策や新規就農者への対応などについて要望や意見を交わしました。数又清市組合長は「今回出た意見を一つひとつ形にして、将来日本に誇れる産地にしたい」と話しました。

▲首長らと意見を交わす数又組合長

10月24日

地元のお米のおいしさ実感！

フレミズ湯野支部「ニコ・ニコおむすび大作戦」

女性部福島地区フレッシュミズ部会湯野支部は、米消費の拡大や仲間づくりを目指し、福島市立西根中学校で「ニコ・ニコおむすび大作戦」を開催しました。

生徒たちは、三角や丸など思い思いの形のおむすびを握り、「炊き立てのお米の匂いだけでお腹がすいてきた。早く食べたい」と笑顔を弾ませました。

その他、部員らにより「幸せを呼ぶおにぎり」の読み聞かせや、JA職員による「お米にまつわるお話」をしました。さらにクイズで、お米の栄養や地域の農産物について知ってもらいました。

▲おむすび作りを楽しむ生徒たち

10月30日

174tの出荷目指す

あんぽ工房加工開始

▲出荷を待つあんぽ柿

JAの生産施設「あんぽ工房みらい」で特産の「あんぽ柿」の加工作業が始まりました。今年度は前年比125%の174tの出荷を目指します。

同施設での加工、出荷は今年で5年目。原料柿は豊作傾向で、最盛期には1日5tの原料柿を加工します。加工数量は前年比123%の330tを計画しています。

加工初日は、原料柿「平核無」3tを皮むき、硫黄燻蒸の加工作業に取り掛かりました。その後、約2週間乾燥させて、11月15日に初出荷しました。

11月13日

福大生が作ったお米をPR

食農新米販売会

JAと包括連携協定を結ぶ福島大学食農学類は「福大生が作ったお米を食べよう！食農新米販売会」をJA農産物直売所ここら矢野目店で開きました。

セレモニーでは数又清市組合長が「地域の皆さんの支援をいただき、学生たちが丹精込めて作った新米を是非ご賞味いただきたい」とあいさつ。

▲販売会に参加した福大生とJA役職員

同大学の小山良太教授や2年生の学生5人が参加し直売所利用者へPRしました。

販売会に参加した学生の生亀薫玲葉さんと木下歩美さんは「不慣れながらも頑張って作った新米を味わって欲しい」「福島県の農業をサポートしていけるように今後も頑張りたい」と意気込みます。

食農新米はJAの農産物直売所全12店舗で販売しており、なくなり次第終了となります。

▲オリジナルパッケージで販売された新米

11月6日

二本松警察署から感謝状

詐欺事件を未然に防ぐ

▲感謝状を受け取った三瓶係長㊨と大槻職員

安達支店は振り込め詐欺を未然に防止したとして、二本松警察署から感謝状を受け取りました。

同支店によると10月26日、窓口担当の大槻千夏職員が来店した70代男性の話を聞いて不審に思い三瓶由美子係長に相談。男性へ警察署に行くよう促し、被害を未然に防ぐことができました。

鈴木正人支店長は「常日頃から啓蒙活動で注意を共有して、しっかり対応してくれた。今後も日頃から注意をしていきたい」と話しました。

11月10日

久しぶりの開催喜ぶ

女性部福島地区本部交流研修会

JA女性部福島地区本部は摺上亭大鳥で交流研修会を開きました。166人の部員が参加し、久しぶりに仲間との楽しいひと時を過ごしました。

同女性部の渡邉浩子部長は「コロナ禍で何もできなかったとなってしまうのは残念。できることを見つけながら、これからも楽しく活動していこう」とあいさつしました。

研修会ではフリーアナウンサーの菅原美智子さんを招いての講演会を実施。菅原さんは「言の葉と出会い　笑顔と出会う」と題し、アナウンサーになるまでの下積み時代の話や声、言葉の力、聞くことの大切さなどを話しました。

▲菅原さんによる講演

11月10日

市産米で学生を支援

学生支援制度新米発送式

▲門馬市長から発送を依頼される山田役員代表㊧

そうま地区本部と南相馬市は、「南相馬市ふるさと学生応援制度南相馬市産米発送式」を南相馬市役所で行いました。

同制度は新型コロナウイルスの影響で学校からのアルバイト自粛要請により、生活が困窮する同市出身の学生を支援する取り組みです。

親元を離れ市外の学校に通う学生666人に同市産「天のつぶ」の新米10kgが順次発送されます。

山田秀晴そうま地区役員代表は「全国の学生に向けて心を込めて発送していきたい」と話しました。

11月15日

JAの役割り学ぶ

まゆみ小学校職場見学

安達地区本部は、本宮市立本宮まゆみ小学校3年生44人の職場見学を受け入れました。施設や地元の農産物、地域の良さについて理解を深めました。

児童らは、低温倉庫や集出荷場などのJAの施設を見学。JAの担当者が、米の特徴やどのようにして食卓に並ぶのかを分かりやすく説明しました。

担当者は「地元の産業を知ってもらって、農業への関心を高めてもらいたい」と話します。

▲低温倉庫を見学する児童

11月15日

秋晴れの中、景色楽しむ
いきいきウォーキング大会開催

そうま地区はＪＡ健康寿命100歳プロジェクトの一環として、いきいきウォーキング大会を新地町で開催しました。

参加人数は開始以来、過去最多の156人を記録しました。同日は3歳から82歳までの参加者が秋晴れの中、釣師防災緑地公園周辺5㎞を歩きました。

参加者は「気持ちよく歩けた」「次回も参加したい」と話しました。

▲公園周辺を歩く参加者

11月15日

就農サポート体制をアピール
新規就農相談会開催

▲就農相談を受ける職員

ＪＡは「ふくしま農業人フェア」で新規就農相談会を行いました。同フェアは福島県農林水産部農業担い手課主催で、福島での就農を考える方に向けて行ったもの。市町村やＪＡ、観光農園など40団体がブースを設けました。

ＪＡの令和元年度の就農支援実績は、新規学卒18人、Ｕターン13人、新規参入29人、合計60人でした。

相談会ではＪＡ職員が、就農手順や支援事業を分かりやすくまとめた冊子「みらい農ライフ」を用い、安心して就農できるサポート体制があることをアピール。14組の相談者がＪＡのブース訪れました。

11月16日

肉牛の霊、慰める
獣魂祭執り行う

ＪＡとそうま地区肉牛部会は、南相馬市原町区の石神購買敷地内にある獣魂碑の前で、獣魂祭を開き、令和元年度に出荷し、と畜された肉牛の霊を慰めました。

同部会員や関係者など16人が参列。南相馬市の相馬太田神社の佐藤左内宮司が神事を行い、神事では同部会の小倉敏孝部会長が祭文を述べ、同部会一同が玉串を捧げました。

▲玉串を捧げる小倉部会長

11月17日

リンゴを守れ！
広報パトロール出動

管内で収穫期を迎えた「リンゴ」の盗難防止広報パトロールが出動しました。

パトロール初日、福島北警察署の協力を得て、同管内の湯野・東湯野地区防犯協会や生産者、ＪＡ農振会のパトロール隊員が集まり出動式を行いました。

今年、同署管内では6件のくだもの盗難被害の届けがあり、約72万円相当の被害に遭いました。同署の原武志生活安全第一係長は「くだものの収穫期は、果樹園を中心に夜間の警戒を強化している。地域の皆様にも防犯の意識を高めて頂き、被害を未然に防ぎたい」と話しました。

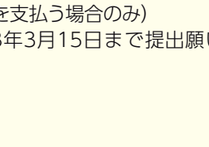
▲リンゴの生育を確認するパトロール隊員

◎令和３年分から青色申告に挑戦!!　収入保険に令和４年３月から加入可能。

今までの白色申告	１月１日以降の留意点	税務署への提出書類他
①自分で作成 (例) JA情報マネジメントの収支内訳表のJA取引額 ＋ JA外取引(領収書等)記帳の集計額 ＝ 合算して収支内訳書に記入 	**パソコンで青色申告ソフト活用** ＜JAの青色申告会＞(団体名・会員数) 保原町農業青色申告会 62／南達農業青色申告会 47 霊山町農業青色申告会 60／鹿島青色申告会 52 青色申告会月舘支部 7／相馬中村青色申告会 39 梁川青色申告会 36 ＜事務局の営農指導員・担い手渉外(TAC)より＞ ・新規取組者にはソリマチ農業簿記かJA青色申告ソフトを購入していただき、ご自分のパソコンにインストールしていただきます。 ・ご自分の勘定科目を設定します。 ・ソフトには複式簿記・現金出納帳・預金出納帳・買掛帳・売掛帳等が格納されており入力します。 ・・会員の多くは、JA情報マネジメントの電子データ(1,500円)を申し込み、JA取引データを受け入れするので、ＪＡに関する販売精算書・購買取引等の入力は不要です(電子データを受け入れしない場合は入力が必要です)。 ・損益計算書・貸借対照表を出力します。	1　提出が必要な書類 ①所得税の青色申告承認申請書 ②青色事業専従者給与に関する届出書 (専従者給与を支払う場合のみ) ③給与支払い事務所の開設・移転・廃止の届出書 (新規に給与を支払う場合のみ) ※①②は令和3年3月15日まで提出願います 2　源泉徴収 給与(専従者給与含む。)を支払う際には原則、源泉徴収税額を給与から天引きして税務署へ納付する必要があります。 ＜手続きの流れ＞ ①扶養親族の確認 (従業員から事業主に「給与所得者の扶養控除等申告書」を出してもらう) ②支払う給与に対する源泉徴収税額を算出 (源泉徴収税額表に当てはめる) ③源泉所得税を天引き、事績の記録 (源泉徴収簿に記入) ④天引きにした源泉徴収税額の納付 (税務署から送付される納付書を使う) ※支払った月の翌月10日までに納付する必要があります ※「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書」を提出すれば、半年分ごと、年2回の納付にすることができます (従業員が常時10人未満の場合のみ)
	自分で作成 ＜「JA情報マネジメントの記帳」に「JA情報マネジメント以外の取引記帳」を合算し、情報マネジメントから出力された損益計算書を完成。併せて出力された貸借対照表を完成。さらに、預金出納帳・売掛帳・買掛帳等を手書きで作成することは理論上可能ですが・・・・。＞ ＜ここでは青色申告10万円控除をご案内します＞ 「JA情報マネジメントの記帳」に「JA情報マネジメント以外の取引記帳」を合算し、情報マネジメントから出力された損益計算書完成で十分です。 貸借対照表は不要です。 専従者給与も全額必要経費に算入可能です。	
②JA記帳代行システム利用 	＜福島・伊達地区本部で約250名＞ ＪＡが利用者から委託されて青色申告決算書(損益計算書・貸借対照表)を作成することになります。 詳しい内容につきましては地区本部農業振興課記帳代行担当者にご相談下さい。	
③税理士・会計士に委託されている白色申告農家は青色申告への切替を税理士・会計士に相談願います。		

※上表は関係機関の監修を受けています　　※農業用現金出納帳作成は前提です

＜持続化給付金＞　福島県内で申請可能な会場（11/27現在）



・福島会場　福島トヨタビル５Ｆ(福島県福島市栄町７-33)
・0120-279-292で予約　・8：30～19：00　・土曜・祝日を除く日曜日～金曜日
※令和3年1月15日が最終期限ですが、会場予約が埋まり次第終了となります

米全量集荷運動実施中

保有米などの数量を確認し、余剰米がありましたら、是非JAへ全量出荷していただきますようお願い申し上げます。
出荷の際はお近くの営農センターにお問い合わせください。

営農
集団
紹介

大平北部ネットワーク（おおだいら）

大平北部ネットワークの皆さん

多様な団体と共に
農村環境の維持向上に取り組む組織

農地の維持や農業・農村の多面的機能発揮のため、多面的機能支払交付金を活用して地域活性化に取り組む「大平北部ネットワーク」は、令和2年度同交付金優良活動表彰の最優秀賞（福島県知事賞）として、県多面的機能支払推進協議会より表彰されました。

設立経過

二本松市大平地区は、鬼婆伝説で知られる安達ケ原ふるさと村の東側に位置し、北側に東西に流れる阿武隈川に沿った水田地帯です。

同地域では、阿武隈川からポンプアップした用水を利用して稲作経営を行ってきました。しかし、農地周りの水路が老朽化して漏水がひどく支障をきたすため、同地区の3集落の農事組合長が話し合い、平成19年度農地・水・環境保全向上対策事業を活用して水田の用排水路の修繕等に取り組むことを決めました。

運営状況及び将来計画

多面的機能支払交付金は平成26年度から活用しています。農地の維持として、水路・畦畔・農道の草刈りや砂利敷き、資源管理向上として、水路の保守管理・ため池・パイプラインの保守点検を実施しています。また排水路の長寿命化対策として、古いフリュームを撤去し新しい排水フリュームの設置を毎年計画的に実施しています。

ビオトープで水生生物観察

農村環境の向上対策としては、地域の皆さんらと、田んぼの楽校（田植、稲刈り、収穫祭）や用水の生物調査、水質調査などを通して交流を図っています。しかし今年度はコロナウイルスの影響で計画した活動は思うように出来ませんでした。

農地面積は水田25ha、畑5haで参加構成員は76戸、全員農業者ですが、実際に水田を耕作している農業者は約15戸で年配者がほとんどです。

代表の浅川吉寿さんは、「農業後継者や定年帰農者に農業を継いでもらい、この素晴らしい里山を後世に残していきたい」と話します。

天日干しが終り記念撮影

地域を
支える
組織活動

二本松市大平地区

野菜の通年出荷で地区の販売高をアップ

大平地区の皆さん

令和元年度品目毎JA販売高

品　目	出荷者数	販売額
主食用米	106	7,832万円 11,844袋/30kg
和牛繁殖	5	5,045万円
キュウリ	9	3,986万円
ミニトマト	5	819万円
ナ　ス	10	689万円
JA直売所	7	443万円
花　卉	3	411万円
インゲン	9	303万円
ネ　ギ	4	146万円
そ の 他	—	912万円
計	—	2億586万円

※飼料用米はありません

農事組合・総代

農事組合は13組。併せて地域の農地を守ってくれる16組織（右下表）が地域の宝です。

総代としては、現在の課題（カメムシ・黒星病・穿孔細菌病対策、獣害対策ゼロ金利→営農部門の黒字化、コロナ禍対策、米価等）を常勤理事の元、一丸となって乗り切っていきたいと思います。

女性部

女性部大平支部は部員数148人。数十年前から大平地区婦人会と同じ組織として活動しています。農家でない部員の方も多く、旅行・観劇・料理・食育等共通のテーマで活動しています。

毎年楽しみにしている観劇旅行がコロナ禍で中止となり、非常に残念です。ウィズコロナで今まで通り旅行を楽しめる日が待ち遠しいです。

また、家庭で食事をとる日が多くなり、免疫力をアップさせるため地元の野菜を食べる取り組み、家庭菜園の取り組みはコロナ禍の副産物です。

創意工夫を重ねて地域の女性と楽しく過ごしていきたいと思います。

大平小学校の児童は109人。元気な声が響き渡っています。

生産組織

そさい部大平部会、水稲部会・和牛繁殖部会二本松支部の部員として活動しています。

当地区の主な営農類型は
①水稲＋野菜（キュウリ・秋冬野菜）
②キュウリ＋秋冬野菜
③ナス＋秋冬野菜
④インゲン＋さや・スナップ
⑤ミニトマト＋秋冬野菜

園芸品目の通年出荷が地区の販売高アップにつながる鍵です。

現在、伊達地区の機械共選の利用者はいませんが、令和3年に安達地区で稼働する機械共選を成功させたいです。

現在20～40代の農業者は約20人。私たちが培った経験を若手農業者や新規就農者につないでいければと思います。

畜産は和牛繁殖の維持拡大、水稲はカメムシ対策が課題です。

いずれ総会・反省会等の時期を迎えます。ウィズコロナで更なる工夫が求められると思います。

農地保全よろしくお願いします

中山間地直接支払制度集落
藪沼・沼ケ作・浅川
石畑・西光内・丑子内
松林・竹ノ内・遠山
多面的機能支払交付金実施組織
大平5区環境クラブ
大平6区環境を守る住民ネットワーク
大平7区環境保全会
大平東部環境保全会
大平北部ネットワーク
多面的機能西光内集落
大平浅川保全会

地区が地域農業振興計画で取り組むこと

①担い手候補・退職者の情報収集と農地手配、新規就農者向け指導会の実施
②環境保全・地域の交流を目的とした定期的な集まりの開催
③園芸品目の栽培出荷や農地の貸借

JAの
農業振興支援事業を活用

JAでは、4億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。
事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

農業所得アップ優良事例 1

優良事例

福島地区　チェリートマト生産者
栽培品目・面積　チェリートマト　10a

項目	パイプハウス新設、種苗購入、選別機付帯設備購入
活用した支援事業	野菜生産拡大助成事業
事業活用前の課題	原発事故により避難し、営農再開する為の各設備導入資金確保が課題だった。
取り組んだ方策	・パイプハウス1棟新設費1,461,158円のところ761,158円で導入 ・種苗購入費324,576円のところ224,576円で購入 ・選別機付帯設備費(ミニトマト供給コンベア)220,000円のところ110,000円で導入
令和2年実績 販売数量・販売金額	数量　3,956kg　金額　2,310,000円　(10月末時点)
取り組み後の成果	営農活動を再開できるようになり、様々な事業を活用しチェリートマトの栽培を開始することが出来た。 また、初期投資の軽減及びコンベア導入による作業の軽減により1年目から順調に栽培することが出来た。
農家コメント	今後も支援事業等を活用し、更なる品質向上・収量アップに努めたいです。
担当営農指導員コメント	当管内は露地作物が多く、天候の影響を受けにくい施設化が必要。今後も各事業活用を斡旋し収量アップ及び増反・作業負担軽減を図りたいです。

農業所得アップ優良事例 2

優良事例

そうま地区　チェリートマト生産者
栽培品目・面積　チェリートマト　3.6a

取り組み前年対比(%)　販売数量:158%

項目	パイプハウス1棟新設
活用した支援事業	平成31年度地域農業振興資金(園芸振興事業)
事業活用前の課題	増反するためのパイプハウスが足りず現状維持となっていた。
取り組んだ方策	園芸用パイプハウス導入支援を活用し、増反のためパイプハウスを増設(1.3a)。 パイプハウス新設費1,054,398円のところ、JA助成を活用し527,398円で設置。
令和元年実績 販売数量・販売金額	数量152kg　金額84,229円
令和2年実績 販売数量・販売金額	数量240kg　金額127,059円
取り組み後の成果	栽培面積を2.3aから3.6aへ増反し、販売数量・販売金額ともに実績を伸ばすことが出来た。
農家コメント	作業者が自分一人なので作業を行いやすくするため、通路を広めにするなど工夫しながら自分に合った作業環境の中で農作業を行っています。今後もJA助成事業や営農指導を受け増反、品質の向上を行い栽培していきたいと思います。
担当営農指導員コメント	生産者の要望に応えながら園芸振興に努めていきたいです。

農業用ハウスの雪害対策

**雪が降る前に必ずハウスの点検を行い、部材の更新や補強対策に万全を期し
雪害に強い農業経営を実現しましょう!**

事前対策

日頃の点検・補修等

1. ハウス各部を点検し、補修等を行います。
2. 筋交い等の緩みを点検します。
3. 中柱、つっかえ棒、ワイヤー等で補強します。

積雪防止・融雪対策等

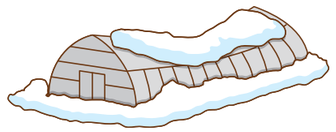
1. ハウス周囲に排水路を掘るなど融雪水の排水対策を行います。
2. 雪の滑落を妨げる遮光資材をはずします。
3. 外張りフィルムのたるみをなくし破損箇所を修繕します。
4. 作物を栽培していないハウスの被覆資材を除去します。
5. サイド被覆の巻き上げは完全に下ろさずスソぎりぎりで止めます。(完全に下ろすと積雪で開けられなくなる場合があります)

除雪

1. 積雪時は、早めに雪下ろしをします。
2. ハウス側面の除雪を徹底します。
3. ハウスの片側に積雪が偏らないように除雪します。

事後対策

1. ハウス各部の損傷や緩み等を点検します。
2. 室温の確保に努め、低温障害を防止します。
3. 降雪後晴れたときには、換気に注意します。



販売情報

せり情報

■ＪＡふくしま未来実績(開催日　11月4日・5日)　単位:円(税込)

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	75	75	646,419	1,273,800	344,300	284	2,274	287	621,011	25,408
去	100	99	757,256	1,070,300	467,500	315	2,404	277	703,127	54,129
計	175	174	709,481	1,273,800	344,300	302	2,351	281	669,751	39,730

■福島県家畜市場(開催日　11月4日・5日)　単位:円(税込)

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	328	325	650,083	1,273,800	220,000	283	2,297	286	646,170	3,913
去	424	423	749,651	1,092,300	240,900	311	2,412	278	695,415	54,236
計	752	748	706,390	1,273,800	220,000	299	2,364	282	674,217	32,173

■乳牛せり市場(開催日　11月18日)　単位:円(税込)

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
妊娠牛	3	614,534	675,400	576,400	−	−	707,300	-92,766
ＥＴ和雌	4	451,825	504,900	385,000	102	4,441	426,066	25,759
ＥＴ和雄	6	560,084	625,900	460,900	97	5,764	533,225	26,859
乳雌牛	1	16,500	16,500	16,500	59	279	29, 700	-13,200
乳雄牛	23	83,409	140,800	3,300	71	1,174	51,810	31,599
F1雌(スモール)	34	194,570	255,200	22,000	71	2,738	165,091	29,479
F1雄(スモール)	62	222,732	298,100	27,500	74	3,023	174,631	48,101

和牛せり市場
乳牛せり市場

ワンポイントアドバイス

子牛せり時の運搬は早めに。

和牛子牛せり・乳牛せり運搬は、早めにお願いします。子牛が繋ぎ場にいないと子牛の確認や、遠方購買者の方が、十分に下見を出来ずにせりを迎えてしまい、せりに影響する可能性があります。これからの時期は、寒気の影響で道路事情も悪くなりますので、早めの運搬に心掛け和牛せりについては、遅くても8時30分、乳牛せりは、9時30分までに運搬されるようお願いします。

伊達地区
霊山町地域

おでかけ
みらいろーど

今回は、農業協同組合発祥の地でもある伊達市霊山町です。歴史ある神社やイチゴをメインにしたカフェなどを紹介します。紹介するのは、霊山掛田総合支店の関根優香さんです。

① 霊山神社（元別格官弊社）

明治14年に創建され、明治18年には「別格官弊社」という、格式の高い特別の神社になりました。南北朝時代に後醍醐天皇が行った政治改革「建武の中興」に大きな功績を示した、北畠御一門の四柱を祀っています。

足立光枝宮司代務者㊨と関根さん

北畠顕家公の御祭神肖像画
（荻生天泉作）

毎年4月29日に行われる春季例大祭奉幣祭

別格官弊社とは…
国家のために功労のあった人臣を祀る神社で、全国で28社しかありません。東京の靖国神社や日光の東照宮など。東北では山形の上杉神社と霊山神社のみです。

施設情報
住　　所／伊達市霊山町大石字古屋舘1
T　E　L／024-587-1326

② 霊山こどもの村

福島県の立県100年記念事業として、昭和47年にオープンしました。園内には、ワークショップや科学を体験できる「遊びと学びのミュージアム」や幅25m、長さ15mのジャンボすべり台、スカイサイクルなどがあります。また、オートキャンプ場もあり、大人も子ども楽しむことができます。

遊びと学びのミュージアム

週末は多くのキャンパーで
賑わいます

施設情報
住　　所／伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
開館時間／9:00 ～ 16:30
休 園 日／水曜日　※12月15日～3月19日は冬季休園
入 園 料／こども（3歳～中学生）200円　おとな500円
T　E　L／024-589-2211
ホームページ／http://kodomo-ryozen.org/

名峰霊山を眺めながら楽しめるジャンボすべり台

③ 農業協同組合発祥の地の碑

明治31年、郷土の先覚者佐藤忠望先生の発想、努力により、上小国信用組合が創設されました。同組合は日本最初の農業協同組合であり、後世に伝えるため昭和40年に建設された記念碑です。

施設情報
住　　所／伊達市霊山町上小国

佐藤忠望先生

農業協同組合発祥の地の記念碑

④ MATSUBAEN

平成31年1月にオープンした、イチゴ農家が経営するカフェ。一押しメニューのフローズンコットンは、氷を一切使わず、果実を急速冷凍して風味をそのまま楽しめる、ふわっふわっの新感覚スイーツです。イチゴはもちろん、イチゴを使った加工品も販売しています。

イチゴのフローズンコットン（味は全部で５種類）

イチゴの加工品（サイダー・ジャム・バター）

ギフトセットも販売しています

店舗情報
住　　所／伊達市霊山町山戸田字
上落合42
営業時間／10:00 ～ 17:00
定 休 日／不定休
T　E　L／080-2803-5564

⑤ 味処　春冨士食堂

明治時代から始まり100年以上、地元の人たちから愛され続ける食堂。食材は地元産のものにこだわっています。全メニューが食べごたえあり、すべては「お客様の満足」のためです。

ボリューム満点のランチBセット（ミックスフライ）

野菜たっぷりタン麺

店舗情報
住　　所／伊達市霊山町掛田字北町13-3
営業時間／11:00 ～ 14:00　　17:00 ～
定 休 日／毎月１日、11日、21日　　T　E　L／024-586-1247
ポイントカード提示で…各メニュー１品ごと50円引き

みらいろ 作品展

（順不同）

鈴木 栄子さん（伊達市保原町）

鈴木 美江子さん（伊達市梁川町）

國分 ヒサ子さん（二本松市）

今村 久子さん（伊達市保原町）

佐藤 久子さん（二本松市）

山田 ひで子さん（国見町）

菅野 惠子さん（桑折町）

清野 八智子さん（伊達市保原町）

宍戸 フミさん（桑折町）

曳地 美雪さん（伊達市梁川町）

加藤 洋子さん（二本松市）

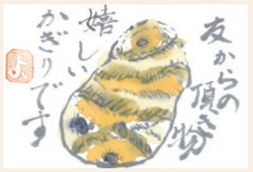
橋 美知子さん（伊達市梁川町）

伊藤 惠子さん（福島市）

佐藤 ヨシさん（二本松市）

大槻 純子さん（桑折町）

但野 ヨオ子さん（南相馬市鹿島区）



野田 好子さん（伊達市保原町）

作品募集中

絵手紙、短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。
住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。応募締切は12月16日（水）必着です。

〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、あらかじめご了承ください

五賀 友子さん（南相馬市鹿島区）

今野 廣子さん（南相馬市鹿島区）

阿部 政子さん（伊達市保原町）

桑折 ツネ子さん（南相馬市原町区）

短歌・俳句・川柳

短歌

店頭に並ぶ新米「天のつぶ」
ふくしま自慢で美味さ抜群
平田 一さん（南相馬市原町区）

処理水は太平洋に放出へ
日本海には中国の船が
清水 義宏さん（相馬市）

濁流におそわれしこと幾度ぞ
かの地離れる当主の無念
森谷 悦子さん（福島市）

夢抱き追いかけた日々懐かしむ
去りゆく年に感謝を込めて
渡辺 絹子さん（福島市）

冬空をV字飛行の白鳥は
鳴き添えながら何を語らう
大堀 スサ子さん（新地町）

秋夜長新生活に疲れ果て
心に栄養癒しCD聴く
二瓶 久子さん（福島市）

汚染土の仮置場より出されゆく
場処に再び痛みは積る
大内 由美子さん（南相馬市鹿島区）

初霜や吾妻おろしが身にしみて
庭の草花終りを告げる
宍戸 マリ子さん（福島市）

孫からの球根一つ贈り物
小春日に咲くサフランの花
西戸 妙子さん（伊達市）

夢に見た叶わぬ心を八十路
ゆれるコスモスに想いをはせる
吉田 英子さん（伊達市梁川町）

「我以外すべてが師だ」という人の
ありて世間に望みを残す
安田 キミ子さん（伊達市霊山町）

窓ごしに背中ぬくめて小春日の
コロナの思いしばし遠のく
佐藤 文子さん（伊達市保原町）

俳句

草もみじ秋の深まり絵葉書に
佐藤 キイ子さん（国見町）

くる年はコロナを払へ福の年
梅村 チヨさん（南相馬市小高区）

ひるねするころんでねるよきもちよく
桑原 政男さん（本宮市）

冬めくや首筋縮め歩む人
小田 慶喜さん（明石市）

孫と待つ大観覧車冬日和
小田 和子さん（明石市）

十三夜我身をふみて畑道
鈴木 光子さん（伊達市保原町）

初雪にヒラヒラ可愛いいモミジの手
今井 知子さん（二本松市）

秋の雨強くて体びしょぬれ
中野 里桜花さん（相馬市）

初霜や草花野菜輝きて
前原 ゆう子さん（南相馬市小高区）

白菜の根元にすくむ蛙かな
富田 タツ子さん（南相馬市小高区）

木枯しが吹けば心も冬支度
夏山 繁樹さん（福島市）

柿垂るゝもぐ人もなし食足りて
安藤 直子さん（南相馬市鹿島区）

霜降りて紅葉カエデも冬支度
佐藤 弘美さん（福島市）

マネキンの冬着となりし飾り窓
永倉 重子さん（福島市）

秋晴れた大豆収穫里帰り
吉田 昭雄さん（南相馬市原町区）

師走月妻忙しく成る月だ
松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

虫の音が変った声で秋知らせ
鈴木 記代さん（大玉村）

柿のれん寒風受けて甘くなる
菅井 昭子さん（国見町）

作業場の窓に名残りの冬の蝶
富田 直子さん（水戸市）

川柳

代議士も地銀も今じゃ多すぎる
山本 松太郎さん（本宮市）

恩返し出来ないままに師に別れ
佐藤 衛さん（伊達市保原町）

早起きで散歩に出かける老夫婦
岩佐 良子さん（新地町）

この世界あいさつコロナマスクかけ
佐藤 忠良さん（二本松市）

スマホデビュー操作に四苦八苦
清水 里子さん（相馬市）

震災の記憶をたぐり伝えねば
平間 勝成さん（南相馬市原町区）

残飯を食べてこれから冬眠だ
佐藤 清治さん（南相馬市鹿島区）

ひ孫つれどんぐり山にハイキング
吉田 ユキさん（二本松市）

やあ一声でむかしにもどる同級生
今野 純子さん（新地町）

月一の日帰り温泉至福なり
草野 小心さん（南相馬市鹿島区）

一日の労功最短大相撲か
三浦 良一さん（南相馬市原町区）

黒いチョウ寒風押され伝へ飛ぶ
太田 幸子さん（南相馬市原町区）

テレビにて長髪戦士ナンセンス
引地 茂さん（南相馬市原町区）

飛んで来たスズメに代りスズメバチ
藤原 菊雄さん（南相馬市原町区）

秋の夜に庭にさまよう猪姿
武山 勇一さん（南相馬市原町区）

日米戦終戦四年ウイルスも
太田 三秀さん（南相馬市原町区）

歴史庭大木整備で家明かし
藤原 静子さん（南相馬市原町区）

台風もコロナ恐怖で急バック
藤原 和江さん（南相馬市原町区）

北朝鮮戦時憎しと拉致を覆う
藤原 實さん（南相馬市原町区）

原発の廃棄処理に四苦十苦
藤原 元気さん（南相馬市原町区）

キノコとりマムシの臭いか味マツタケ
デクノ坊さん（南相馬市原町区）

創造的自己改革実践中!! 33

梁川東部サブセンター金賞受賞

ＪＡ全農東北営農資材事業所が行う「東北地区ＪＡ店舗ディスプレイコンテスト 2020」で、当ＪＡの梁川東部サブセンターが、売り場部門で金賞に輝きました。

同コンテストは、店舗のディスプレイレベル等の向上や売上増を目指し、2011年から開催しています。今大会は「テーマ別部門」、「倉庫部門」、「レジ前部門」、「売り場部門」、「一等地部門」の５部門に分かれ、23ＪＡ、77店舗が参加しＰＯＰ技術や商品陳列などを競い合いました。

同センターは売り場部門に参加し、パッと見てわかりやすいＰＯＰや値札の工夫などが評価され受賞となりました。梁川営農センターの清野公弘センター長は「時期に合わせてディスプレイを変更して、組合員や利用者に分かりやすく伝えていきたい」と話します。明るく入りやすい店舗でどなたにも楽しめる工夫が感じられます。ぜひ近くに寄られた際はお気軽にご来店ください。

また、月舘資材センターも同部門で銅賞に輝きました。

金賞を受賞した梁川東部サブセンターの皆さん

見やすいＰＯＰ作りが大評判です

創造的自己改革へのさらなる挑戦！　みなさまの評価・応援が私たちの**力**になります！

福島大学
コラム

農産物のマーケティングが研究テーマです！

福島大学　食農学類　農業経営学コース
河野恵伸

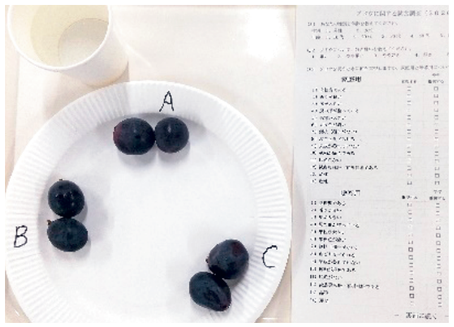
食農学類農業経営学コースで、主に農産物や食品のマーケティングを担当しています。マーケティングは、米国から入ってきた概念でカタカナ語が多くなっています。そのため、とっつきにくいかもしれません。マーケティングを簡単にいうと、お客さんが欲しいものを、創って、知ってもらって、運んで、買ってもらって、喜んでもらう、を的確に実施することで、消費者起点になります。

４月に福島に着任してからは、福島産のブドウやナシの試食調査を行いました。ブドウは、試験的に栽培したものと、同じ時期に販売されている市販品２品種との比較です。消費者約60人に、３品種の味や食感を評価してもらいました。どのブドウも美味しいのですが、たくさんの人に評価してもらうと、好みが分かれることがわかります。

それから、ナシは晩生の品種を導入し、晩秋から初冬にかけて販売した場合に、消費者に買ってもらえるかを調べています。10月中旬と11月中旬に30世帯の家庭にナシを配って、普段の食生活の中で食べて評価してもらいます。

いずれも新技術や新品種導入の是非を、消費者に判断してもらうというものです。

みなさんも、こういった調査を一緒にやってみませんか。



どのブドウが好きですか？

元気にすくすく みらいっ子

福島地区

信陵支店

- 菅野ツネ子さんのお孫さん
- こころちゃん（9歳）
- くるみちゃん（6歳）

おいしいりんごできました♡

安達地区

東和支店

- 齋藤 勝也さん、恵さんのお子さん
- 愛来（あいら）ちゃん（1歳）

元気いっぱいの優しい子に育ってね♡

そうま地区

新地総合支店

- 森 慶太さん、碧さんのお子さん
- 歩岳（ほだか）くん（4ケ月）

いっぱい一緒に遊ぼうね♥

伊達地区

保原総合支店

- 齋藤 健一さん、まどかさんのお子さん
- 太佑（たいゆう）くん（1ケ月）

思いやりのある子に育ってください。

JAの介護福祉事業

地域の介護をみんなで支え合いましょう!!

介護保険法に基づき、介護保険利用者様が住み慣れたご自宅で、安心して生活を送れるように、介護福祉職員が一丸となりサービスをさせていただいております。

居宅介護支援事業（きょたく かいご しえんじぎょう）

介護認定について知りたい　介護サービスを利用したい　など

こんなお悩みありませんか？

★経験豊富で、親切なケアマネジャーが揃っています。
介護について不安なこと、困っていること、お気軽にお電話ください。

【福島地区】介護プランセンターかわまた　024-565-3200
【伊達地区】居宅介護支援事業所だて　024-575-0322
【安達地区】居宅介護支援事業所にほんまつ　0243-22-1001
居宅介護支援事業所もとみや　0243-24-1184
【そうま地区】居宅介護支援事業所そうま　0244-46-5067

訪問介護登録ヘルパー募集中！

勤務時間　勤務者の都合の良い時間に勤務が出来ます。
但し勤務シフトによる
勤務例:「朝夕だけの勤務」「日中だけの勤務」「土・日だけの勤務」「不規則で空いている時間だけ」「平日だけの勤務」など
もちろん、「フル稼働」もOKです。
休　日　週1回は休日とします。(シフトによる)
職　種　登録ヘルパー(介護パート職員)
資格条件　介護初任者ヘルパー 2級以上
介護福祉士資格者優遇
給　与　○通　常　時給　1,200円
○早朝夜間祝日　時給　1,500円
○日曜日　時給　1,620円
他に交通費、処遇改善加算、移動時間賃金を規程に基づき別途支給
勤務場所　勤務場所についてはお問い合わせ下さい
お問い合わせ先
経済部介護福祉事業課　各地区担当まで
●福島地区　024-565-3200 ●伊達地区　024-575-0104
●安達地区　0243-24-6211 ●そうま地区　0244-46-5037

下記職員も募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。
福島地区　訪問介護常勤ヘルパー
【介護准職員(※介護正職員登用有)】
安達地区　居宅介護支援事業所にほんまつケアマネジャー
【介護准職員(※介護正職員登用有)】

繁栄を拓く協同組合　JAと農業

監修＝JCA
(日本協同組合連携機構)

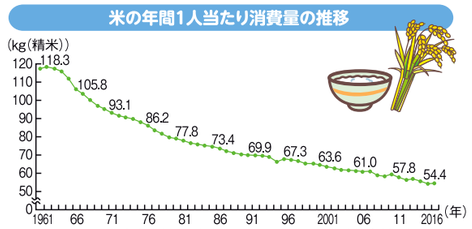
JAが進める「米の消費拡大」

日本人の米の消費量は減少傾向にありますが、単身世帯や共働き世帯が増える中で、中食・外食業者等が求めるいわゆる業務用米の需要は増加傾向にあります。JAグループでは、こうした需要への対応を生産者と一体となって進めており、例えば回転寿司チェーン向けには適度な粘りやほぐれやすさを持つ品種、加工米飯メーカー向けには大粒で粘りが少ない品種を選定し、契約栽培に取り組んでいます。近年では国外の需要にも目を向け、輸出の具体化に向けた取り組みを強化しています。

一方、消費者の関心を高めることにも力を入れており、全国レベルでは全農がウェブサイト「NO RICE NO LIFE PROJECT」、全中がウェブサイト「とれたて大百科」を運営しており、米の魅力を総合的に発信しています。また、日本の食卓と豊かな国土を支えてきた稲作農業を学ぶ機会として、次代を担う子どもを対象とする「バケツ稲づくりセット」の配布、「『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」などにも取り組んでいます。

語句解説
【米】(こめ)
日本の農業産出額(2017年度)は9兆3787億円。そのうち、米は1兆7456億円です。主食用米の収穫量は730万6000トン。米の1人当たり年間消費量は、ピークの1962年度の118.3キロから一貫して減少傾向で推移し、2017年度は54.2キロとなりました。業務用米の需要拡大等は見られるものの、主食用米のトータルでの需要量は毎年8万トン程度のペースで減少が続いています。こうした状況の中で、飼料用米や米粉用米など主食用米以外の米に取り組む動きが広がっています。

米の年間1人当たり消費量の推移



農水省資料より作成　注:1人1年当たり供給純食料の値である。

子ども向け「バケツ稲づくりセット」の取り組み

平成元年(1989)年より始めた「バケツ稲づくりセット」は延べ1000万人を超える子どもたちに配布しました。

ウェブサイトで情報発信

おにぎりを食べてダイエットする方法などを全農のウェブサイトで発信しています。

耕そう、大地と地域のみらい。

みらいろポイントカード協力店紹介

みらいろポイントカード協力店でオトクなサービスを受けよう！

ここではみらいろポイントカードを提示することで、サービスが受けられるお店を紹介します。

中国料理　陸　福島市

6名様から貸切できます。貸切の際は事前に電話予約が必要となります。

住　所　福島市置賜町8-8
パセナカMisse2階
営業時間　11:30～14:00
17:30～22:00
定休日　日曜日
TEL　024-563-6844

サービス内容　お会計の際、100円引

味処　東本店　福島市

国道13号沿いのお店です。全席禁煙で、全席テーブルイス完備です。定食類、そば、丼ものなど沢山の要望にお応えできます。

住　所　福島市飯坂町平野字森7-1
営業時間　11:15～14:00(LO13:50)
17:30～20:00(LO19:30)
＊予約状況など場合によって時間の変更有
定休日　木曜日　＊祝日によって変更有
TEL　024-542-7711

サービス内容　ご利用金額に応じて次回から使用できるお食事券進呈

メナード福島北 フェイシャルサロン華　福島市

アットホームなエステサロンです。お試し2,000円(税別)でできます。ぜひ1度来てください。

住　所　福島市丸子字富塚30-10
営業時間　9:30～17:00
定休日　祝日・第2土曜日
TEL　024-553-5760

サービス内容　お肌の悩み対応のサンプルセットプレゼント

車検のコバック福島本内店 大久自動車販売㈱　福島市

車検・修理・鈑金において、お客様のカーライフをトータルでサポートします。

住　所　福島市本内字北古舘9
営業時間　8:30～17:30
定休日　水曜日・第3火曜日
TEL　024-553-0777

サービス内容　車検整備後ティッシュボックス5個プレゼント

すし竹　伊達店　伊達市

厳選した新鮮ネタを盛り込んだ自慢の逸品、味で勝負のお持ち帰り寿司。

住　所　伊達市北後8-10
営業時間　10:00～19:30
定休日　無休
TEL　024-583-2150

サービス内容　おみそ汁20円引き

㈲東北自動車工業　二本松市

車検のことなら「安い料金、安心、安全、納得整備」で当店におまかせください。

住　所　二本松市長命18
営業時間　8:00～17:00
定休日　日曜日・第2・4土曜日
TEL　0243-23-6688

サービス内容　車検時ウォッシャー液一本と粗品サービス

㈲ワイズガレージ　二本松市

自動車鈑金・塗装・車検整備・新車・中古車販売。

住　所　二本松市上川崎字大将内13
営業時間　8:30～17:30
定休日　日曜日・第2・4土曜日
TEL　0243-24-1652

サービス内容　エンジンオイル交換時工賃無料

㈲遠藤整備工場　本宮市

民間車検、一般整備、鈑金、塗装、自動車保険一式、新車・中古車販売、予約により1日車検あり

住　所　本宮市本宮字白川3-9
営業時間　8:30～18:00
定休日　日曜日・祝日
TEL　0243-33-3242

サービス内容　車検時の乗用車自動車整備工賃の5%割引、乗用車軽自動車12ヶ月定期点検工賃の10%割引、引取り・納車・代車サービス(車検時)

Vチェーン北長野店 ㈲たはら　南相馬市

月2回金、土セールで特売のチラシを出しております。

住　所　南相馬市原町区北長野字北原田305-2
営業時間　7:30～19:30
(日曜日18:30)
定休日　元旦
TEL　0244-23-2714

サービス内容　会員証提示で正月のみ粗品進呈

後藤輪業　南相馬市

ダイハツのスマートアシストⅢ車で、安全・安心・運転しやすい快適なお車を提案させていただきますと共に、カーライフをお手伝いさせて頂きます。

住　所　南相馬市鹿島区西町2丁目70
営業時間　8:30～17:30
定休日　火曜日
TEL　0244-46-5360

サービス内容　車検点検ご予約のお客様ティッシュ5箱進呈、オイル交換のお客様ティッシュ1箱進呈
＊粗品は時節により変わる場合があります。

さらに協力店を知りたい場合は、各直売所に置いてある「協力店ガイド」をご覧ください。

ドローンで見る ふくしま未来

安達地区（本宮市）

花と歴史の郷　蛇の鼻

四季を通じて咲き誇る花々が鑑賞できる庭園です。秋の紅葉はとても綺麗で見ごたえがあり、この時期になると多くの観光客が訪れます。園内には、登録有形文化財の蛇の鼻御殿があります。

ホームページで動画もご覧いただけます。
https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone
JAふくしま未来 ドローン動画集　検索

JA ご利用の皆様へ

なりすまし詐欺被害防止

なりすまし詐欺に注意してください!!　～自己判断テスト～

Ⅰ　警察官からの電話で、「あなたの口座が詐欺犯人に悪用されている。口座を止める必要があるので、キャシュカードの暗証番号を教えてください」と言われた。

Ⅱ　財務省職員、市役所職員、金融庁職員を名乗る電話があり、「あなたのキャシュカード（通帳口座）が不正に使用されております。」「これからお手元のキャシュカードを確認しに参ります」と言われた。

なりすまし詐欺被害防止のポイントは、犯人のだましのキーワード（「口座が悪用されている」「還付金があります」など）にいかに早く気付くかです。
また、「キャシュカードを他人に渡さない」「暗証番号を他人に教えない」を心掛け、詐欺の被害に遭わないように、ご家族ともども気を付けましょう。

1つでも当てはまる場合は、JA もしくは警察に電話してください。

JA 職員がキャシュカードの暗証番号を聞くことはありません！

いなか亭・ここら亭　営業終了について

(四季の里)**いなか亭 令和2年12月22日 閉店**・(ここら吾妻店内)**ここら亭 令和3年1月31日 閉店**

長らくご愛顧いただきました皆々様に、心から厚く御礼申し上げます。

野菜をつくろう！

家庭菜園のススメ

ＪＡの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい！」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします♪

第10回は、『ニンジンのトンネル栽培～とう立ちさせない温度管理について～』です！

ニンジンの発芽適温は15～25℃で発芽には10℃以上、生育適温は18～21℃です。緑植物春化型といい、ある程度の大きさになり、低温に遭遇すると花芽が形成され、その後の長日と高温でとう立ちが始まる野菜です。

品種

春まき用にはとう立ちがしにくい品種を選びましょう。どんな土壌にも適し、作りやすい「向陽二号」、草勢が強く、芯まで鮮紅色になる「ちはま五寸」などがあります。なお、暖地向きの「黒田五寸」はとう立ちの早い品種です。

畑の準備

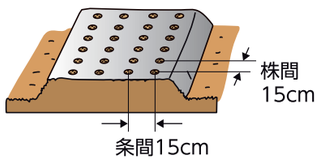
種まき2週間前に1㎡当たり苦土石灰100gをまき、30cm程度の深さに耕します。1週間前に、化成肥料(NPK各成分で10%)100～150gと完熟堆肥2～3kgを施し、土とよく混ぜておきます。

条間15cm、株間15cmなどの穴開きマルチ資材の規格に合わせた70～80cmのベッド幅を作ります。マルチは早めに張って地温を上げておきましょう。

種まき

温暖地では1～2月から種まきができますが、家庭菜園では3月まきが安心です。穴開きマルチでは、1穴に5～6粒まきます(図1)。

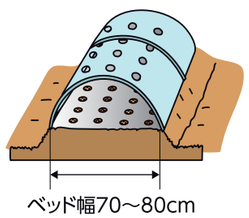
図1　種まき



トンネルの設置

換気作業を省力化するには穴開きのトンネル資材(農ポリ)を選ぶと良いのですが(図2)、普通の農ポリでは生育に従って裾を上げて換気をします。さらに、トンネル内の茎葉が茂り、いっぱいになればトンネルを外します。

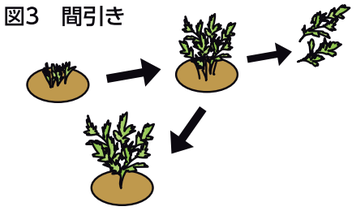
図2　トンネルの設置



間引き

1回目は本葉2～3枚のときに2～3本、2回目は5～6枚のときに一本立ちにします(図3)。

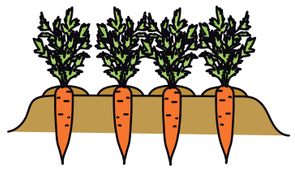
図3　間引き



土寄せ

間引きと同時に土寄せを行い、さらに収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せして、根が緑に着色するのを防ぎます(図4)。

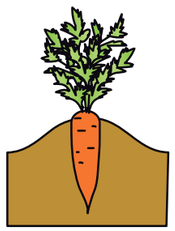
図4　土寄せ



収穫

根の径が4～5cmに肥大した株から順次抜き取ります。太り過ぎて裂根しないうちに収穫をします(図5)。裂根は急激に肥大する生育後半、畑が乾燥または過湿となる水分条件で起きやすいものです。

図5　収穫



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

園芸研究家●成松次郎

クロスワードパズル

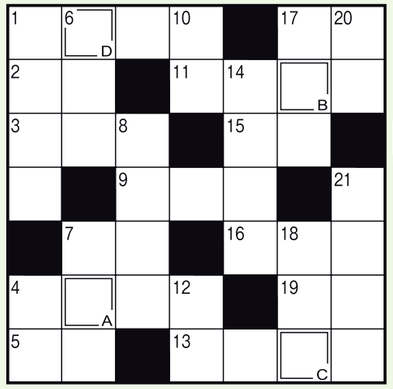
【➡ヨコのカギ】

1　一富士二タカ三ナスビは、何に見ると縁起の良いもの？
2　キャンバスの大きさを表すときに使う言葉
3　港を表す地図記号はこの形
4　強烈な悪臭がする液をお尻から噴射して身を守る動物
5　1/100はセンチ、1/1000は
7　なぜか猫が入りたがる物
9　大豆や緑豆の種子を暗い所で発芽させた物
11　物事をするのにちょうど良い頃合い
13　おせち料理に入れる煮豆
15　鶴は千年、――は万年
16　ご飯のこと。カレー――
17　ぬいぐるみに詰めます
19　ピーヒョロロと鳴く大きな鳥

【⬇タテのカギ】

1　羽根突きに使う道具
4　すずりですります
6　止まらず次に進むこと
7　重さを知りたいときに使います
8　テレビやエアコンに向けてボタンを押します
10　ご飯のこと。焼き――
12　いんいちがいち、いんにがに……
14　――付きのタイで成人を祝った
17　車が動きださないようにタイヤにかませます
18　同種の事例は枚挙に――がない
20　凍った場合は氷瀑(ばく)と呼ばれます
21　ひもの――が固くてほどけないよ

二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で「みらいろオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。

応募方法

官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧ＪＡや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、下記の宛て先までご応募ください。

【宛先】
〒960-0185（福島県福島市北矢野目字原田東1-1）
JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

※記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます

応募締切 12月23日(水)(必着)

JAふくしま未来の概要

令和2年10月末現在

組合員数(正)	46,289人
(准)	48,469人
役員数　理事	53人
監事	8人
職員数	1,223人
准職員数	282人
出資金	16,357百万円

事業実績

購買品供給高	6,974百万円
販売品販売高	21,565百万円
貯金高	736,784百万円
貸付金高	194,823百万円
長期共済保有高	2,493,985百万円

理事会報告

第９回理事会　日時▶令和2年10月30日(金)　場所▶ＪＡ福島ビル 1001会議室

■協議事項

議案第1号　食の旬みっけ課福島地区農産加工館「いなか亭」「ここら亭」営業終了について

議案第2号　令和2年度伊達地区梁川きゅうり共選場選果機増設、野菜集出荷所修繕工事に係る事業計画について

議案第3号　飯舘営農センター事務所等の建設について

編集後記

今月に入り本格的な冬となり日に日に寒さが厳しさを増しておりますのでコロナ対策と体調管理には十分お気を付け下さい。そして良い年末年始をお迎えください！　(中野)

今旬レシピ

牛ゴボウの甘辛煮

たれは、砂糖を分けて入れ、甘さを調整するのがオススメです！

■材　料（4人分）

ゴボウ	3本
牛肉（すき焼き用）	8枚
水菜	少々
煮込み用たれ	
しょうゆ	3/4カップ
みりん	1カップ
酒	3/4カップ
砂糖	150～250g（お好みで）

■作り方

①3～4cmほどに切り、やわらかくなるまで下ゆでしたゴボウを冷まして、広げた牛肉で巻き、サラダ油（材料外）をひいたフライパンで表面を焼き固め、取り出しておきます。

②①のフライパンに煮込み用のたれを入れ、沸騰させて①を入れ煮込みます。

③②の煮汁に程よくとろみがついてきたら火を止めます。

④ささがきゴボウをサラダ油（材料外）で揚げ、下に敷き、③を盛り付け水菜をあしらい出来上がりです。

今月の直売所出荷者さん

うちのゴボウは太くて長くてやわらかくて香りがあってとってもおいしいです！

福島市岡部

齋藤 博実さん（66）

定年退職後本格的に農家を始めた齋藤さん。ゴボウ、ニンジン、とろろ芋、たけのこ芋、里芋、カリフラワー、ケール、大根、キャベツなど20種類以上の様々な野菜を栽培してＪＡ直売所などに出荷しています。「直売所に出荷を始めて知り合いが増え、みなさんいろいろなことを教えてくれるのでとても有意義で楽しい」と話します。

齋藤さんは、自分が食べたいもの、食べておいしいと思ったものを作って、みなさんにも食べてもらいたいという想いで日々様々な作物作りに挑戦しています。

共通イベント情報

あんぽ柿まつり　12月12日（土）、13日（日）

ここら全店

納豆の日
12月17日（木）、27日（日）

みらい百彩館んめ～べ

干し芋まつり
12月12日（土）、13日（日）

あんぽ柿まつり
12月19日（土）、20日（日）

クリスマスイベント
12月24日（木）

歳の市
12月28日（月）～30日（水）

こらんしょ市二本松店・本宮店

こらんしょ市の日
12月15日（火）、16日（水）

歳末セール
12月15日（火）～30日（水）

月末の市
12月28日（月）～30日（水）

ふれあい旬のひろば・旬のひろば

旬の味覚特売
毎週金・土・日

歳末感謝祭
12月27日（日）～29日（火）

JAふくしま未来
ふくしま未来農業協同組合　〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
編集：改革推進部広報課　TEL 024-573-7121　URL http://ja-f-mirai.or.jp/